

「細胞治療」の最前線に触れる

**「第19回 KMU 研究推進セミナー」開催のご案内**

6月29日(木) 16:30~18:30 金沢医科大学 医学教育棟4階 E41 講義室

金沢医科大学(石川県河北郡内灘町大学1-1 学長:神田享勉)では、6月29日(木)16時30分より金沢医科大学医学教育棟4階E41講義室にて、「細胞治療の金沢医科大学を目指して」をテーマとして「第19回 KMU 研究推進セミナー」を開催いたします。プログラムの詳細は添付をご覧ください。

近年、生きている細胞を用いる治療法が、さまざまな疾患の治療に試みられるようになってきました。例えば、iPS細胞をはじめとする幹細胞による治療の開発は、日本のお家芸ともいえる分野であり世界をリードしています。本学でも、このような新しい技術を積極的に導入し、未だに克服されていない病気の治療法開発に取り組んでいきたいと考えています。幸いにも本学は昨年度、この取組みの関連で「文部科学省私立大学研究ブランディング事業」の支援対象校に選定されました。同事業による5年間(平成32年度まで)の支援を得て、本学は臨床応用を目指した細胞治療の研究を加速しています。

今回ご講演いただく順天堂大学形成外科学講座の田中里佳准教授の研究グループでは、難治性四肢潰瘍患者に対する画期的な治療法が開発が行われています。この治療法は血管内皮前駆細胞の新しい培養手法をとるものが特徴です。田中先生のグループは、この新規培養手法を駆使する次世代型の血管・組織再生治療法の開発に成功し、現在、その実用化を目指しています。この一連の取組みは、患者さんに負担が少なく、高い治療効果を実現し、高コストパフォーマンスを満たした治療こそが理想的な細胞再生治療であるとの考えに基づくものです。近い将来、この取組みによって「外来採血のみの血管再生治療」が実現し、それによって多くの難治性四肢潰瘍患者が救済されることが期待されます。

今回の講演会では、細胞治療や研究に関する本学の取組みをご紹介するとともに、田中先生から最先端の細胞治療法開発にまつわる様々なお話をうかがえる予定です。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、社会的に重要かつ時宜に適ったテーマとして、ご報道方よろしくお願ひ申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先  
金沢医科大学 広報部 広報企画課  
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1  
TEL:076-286-2211 (内線 2581~2583)  
FAX:076-218-8397  
E-mail:kikaku@kanazawa-med.ac.jp